

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
生物学	2	前期	講義	2	中村 麻理子

○授業の到達目標及びテーマ

生物学の内容を俯瞰させ、概要を理解させたいうえで、幼児教育者の専門家を養成するという具体的な目標の下に、基礎教育科目の「生物学」と専門教育科目の領域「環境」がそれぞれ密接なつながりを持つことを考慮しながら、生物学についての理解を深める。

○授業の概要

生物学とは生物を対象にして研究する学問であり、現象や研究手段により分類学・形態学（解剖学）・発生学・生理学・生化学・生態学・遺伝学・生物地理学などに分けられる。これらの内容を俯瞰し、生物学の基礎的な知識を理解する。

○授業計画

第1回：オリエンテーションーなぜ「生物」を学ぶのかー

【事前学修】シラバスを確認し、幼児教育の中における生物との関わりについて調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第2回：生物学と生命の探究（生命とは）①生物学とは ②生命体のもつ一様性と多様性

【事前学修】生物学とは何か、「生物」「生命」について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第3回：自然界の仕組みとまとめ

【事前学修】生態系について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第4回：人間の生活と生物（人間と生き物との関係）①季節と生活（自然の中で）②食生活（食べる生き物）③生物の利用・改良（豊かにする生き物）④衛生昆虫・病原体

【事前学修】日常生活や幼児教育現場における生物の利用や関わりについて調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第5回：分類学（生物の系統と分類）①いろいろな界の分類 ②系統樹とは

【事前学修】身近な生き物の仲間わけについて調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第6回：③大分類 ④動物の分類 ⑤植物の分類

【事前学修】身近な生き物の仲間わけについて調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第7回：形態学（生き物の形）①動物と植物の違い ②動物の形態 ③植物の形態

【事前学修】身近な生き物についての知識を確認する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第8回：④生物のオスとメス ⑤生物界の多型現象

【事前学修】身近な生き物についての知識を確認する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第9回：形態学（人間の体のつくりと機能）①骨格 ②頭蓋

【事前学修】身近な生き物の姿・形について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第10回：③頭蓋泉門 ④解剖学用語と人体の部位

【事前学修】幼児教育現場での生物用語の必要性について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第11回：生態学（生物と環境）①生物と環境 ②作用・反作用・相互作用

【事前学修】私たちが住んでいる自然環境との関わりについて調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第12回：③生態系の構成要素・食物連鎖・食物網 ④生物の地理的分布

【事前学修】身近な自然環境の生態系について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第13回：生態学（動物の行動）①本能行動 ②経験にもとづく行動

【事前学修】身近な生き物や私たち人間の行動について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第14回：幼児と生きもの（幼児教育と生物学の接点）①子どもと自然 ②子どもの五感 ③子どもの園内活動と園外活動 ④季節の変化と子どもの活動

【事前学修】生き物との適切な関わりと実践について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

第15回：⑤子どもと動植物（草花遊び・虫遊び）⑥保育者を目指す学生が必要とする動植物の基礎知識

【事前学修】生き物との適切な関わりと実践について調べる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しまとめる。

○テキスト

「屋久島の自然」 鮫島 正道、中村 麻理子著 南日本新聞開発センター

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館

○学生に対する評価

授業の小課題（20%）、筆記試験（70%）、レポート提出（10%）などを総合して評価する。